

環境の持続は縮小社会で

松久 寛

一般社団法人 縮小社会研究会 代表理事



私は(1947年生)、歴史上もっとも 幸運な世代

1. 飢えなし(飽食)
2. 戦争なし(兵役もなし)
3. 身分制なし
4. 成長の時代

次の世代は？

次の世代は？

給料: 厚生労働省「国民生活基礎調査」によれば、日本国民の平均世帯年収は1994年の664.2万円をピークに減少を続け、2011年は548.2万円。

非正規雇用: 37.4%(2014年)

生活保護受給者: 215.9万人(2014年年4月)

日本の未来？

赤字国債、高齢化、人口減、政治、経済、
技術立国、戦争・・・、問題山積

食料、エネルギー

人口, GDPと豊かさは別

人口

中国 13.7億

インド 12.6億

アメリカ 3.2億

インドネシア 2.5億

ブラジル 2.0億

ドイツ 8000万

イギリス 6600万

フランス 6500万

スウェーデン 1000万

スイス 800万

GDP (兆US\$)

アメリカ 18.6

中国 11.2

日本 4.9

ドイツ 3.5

イギリス 2.6

フランス 2.5

インド 2.6

GDP/人

ルクセンブルグ 103 k\$

スイス 79 k\$

ノルウェー 70 k\$

アメリカ 57 k\$

ドイツ 42 k\$

日本(22位) 39 k\$

中国 8 k\$

GNH

1. 心理的幸福、
2. 健康、
3. 教育、
4. 文化、
5. 環境、
6. コミュニティー、
7. 良い統治、
8. 生活水準、
9. 自分の時間の使い方

1 ノルウエー

2 デンマーク

3 アイスランド

4 スイス

5 フィンランド

14 アメリカ

49 ロシア

51 日本

79 中国

国連の幸福度報告
(2019年)

GDP/人
総生産、
社会的支援、
健康寿命、
社会的自由、
寛容さ、
汚職の無さ、
貧富の差

日本58位

成長か縮小か

成長には、**量**と**質**がある

子どもの成長：**量**と**質**

大人の成長：**質**

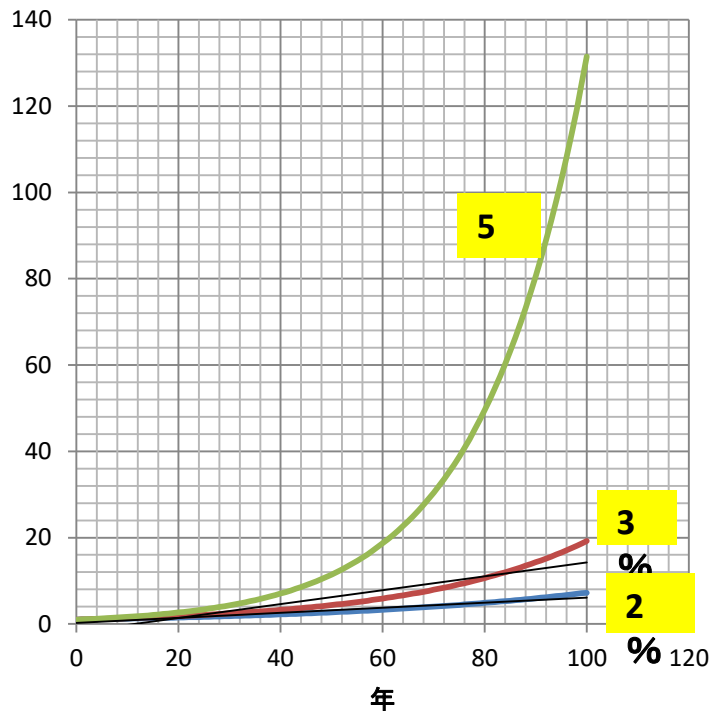
経済の成長：**量**

社会の成長：**量**と**質**

量の成長とは、より多くの物を生産することであり、**資源と廃棄物処理**が必要。過度になると、過去の遺産を食いつぶし、未来へつなげをまわす。

経済の永遠の(指数関数的)成長は可能か
科学技術でエネルギー、食糧、環境を解決できるか

成長：幾何級数、指数関数

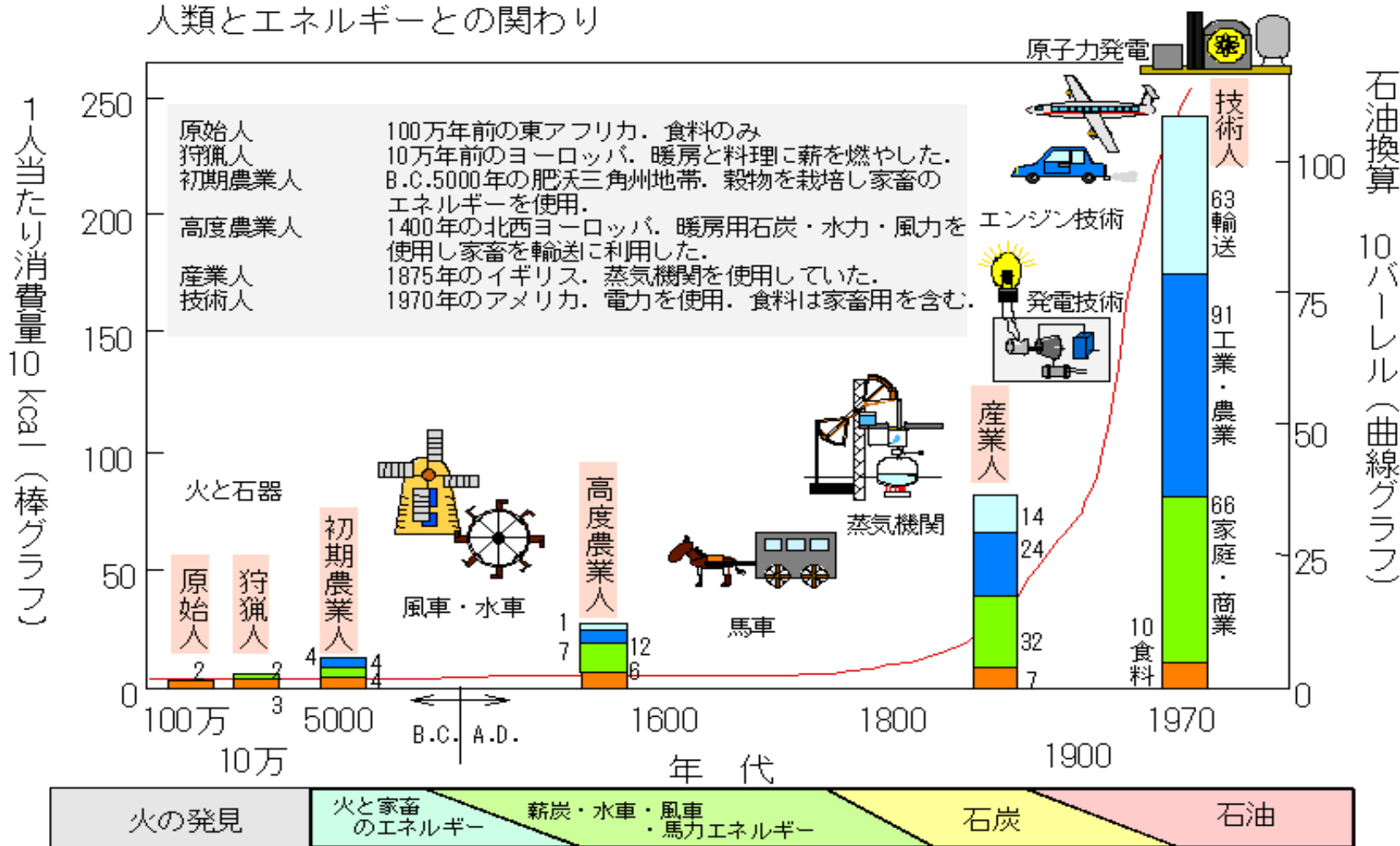


成長率	2%	3%	5%
2倍になる年	35年	24年	15年
50年後	2.7倍	4.4倍	11倍
100年後	7.2倍	19倍	132倍
100年分の 資源が枯渇	54年後	46年後	35年後

経済成長は生産の増大を意味し、資源、エネルギー消費が増大する。指数関数的成長はネズミ算、高利貸しと同じで、修羅場を経て滅亡へ。

原始時代は、一人一日、必要熱量2000kcalであった。
 現在10万kcal使用。これは2000kcalの120倍。
 この大半は化石燃料。

人類とエネルギーとの関わり



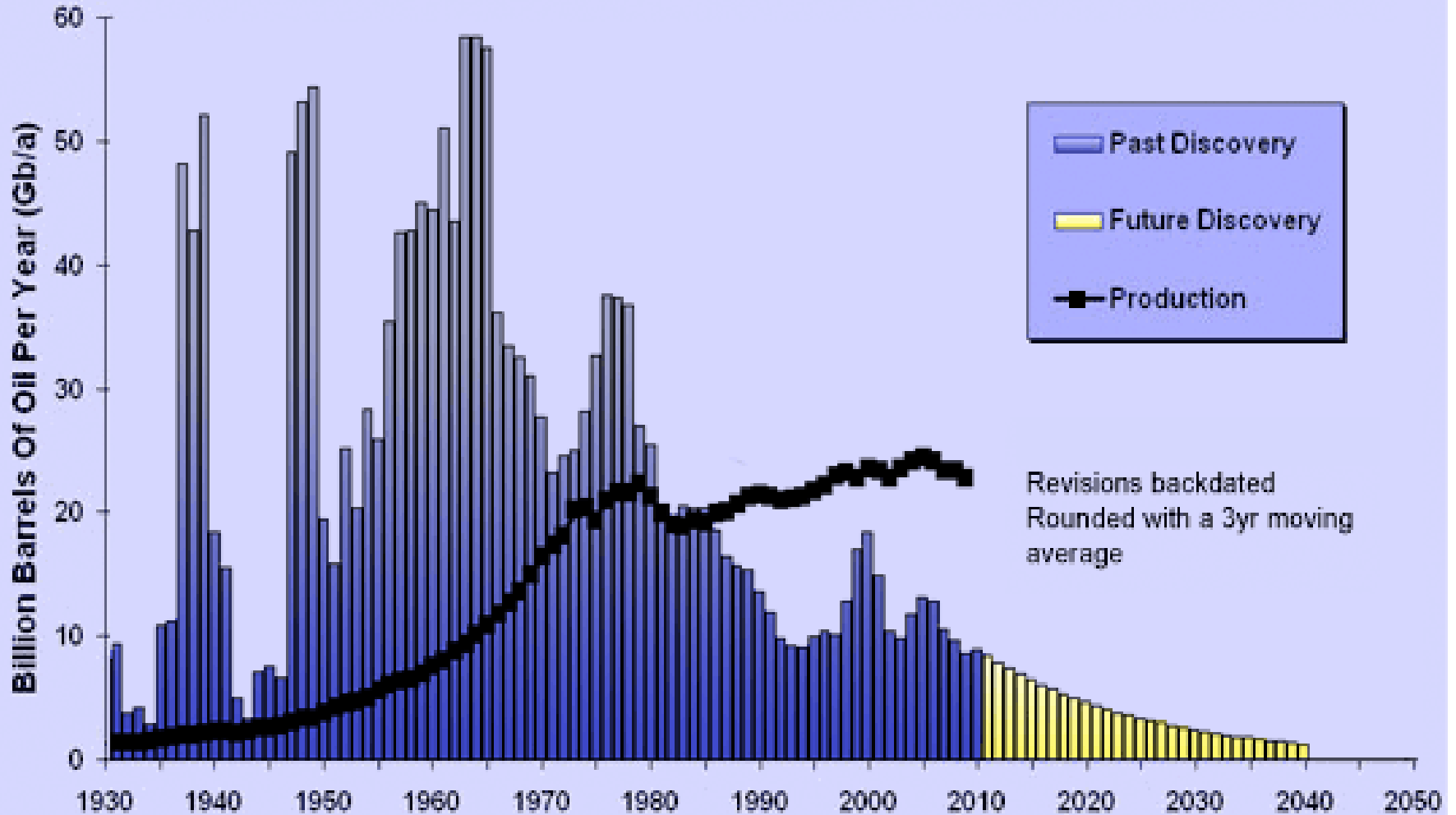
総合研究開発機構「未来への選択 エネルギーを考える」(1979)に基づき作成

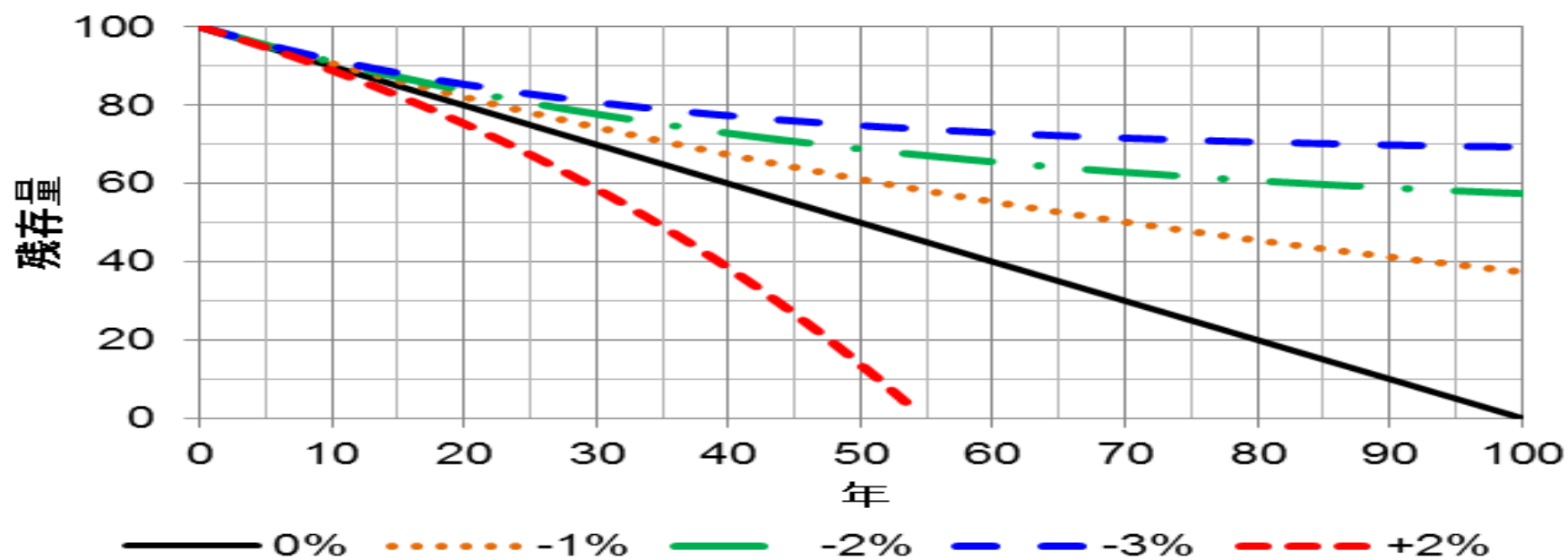
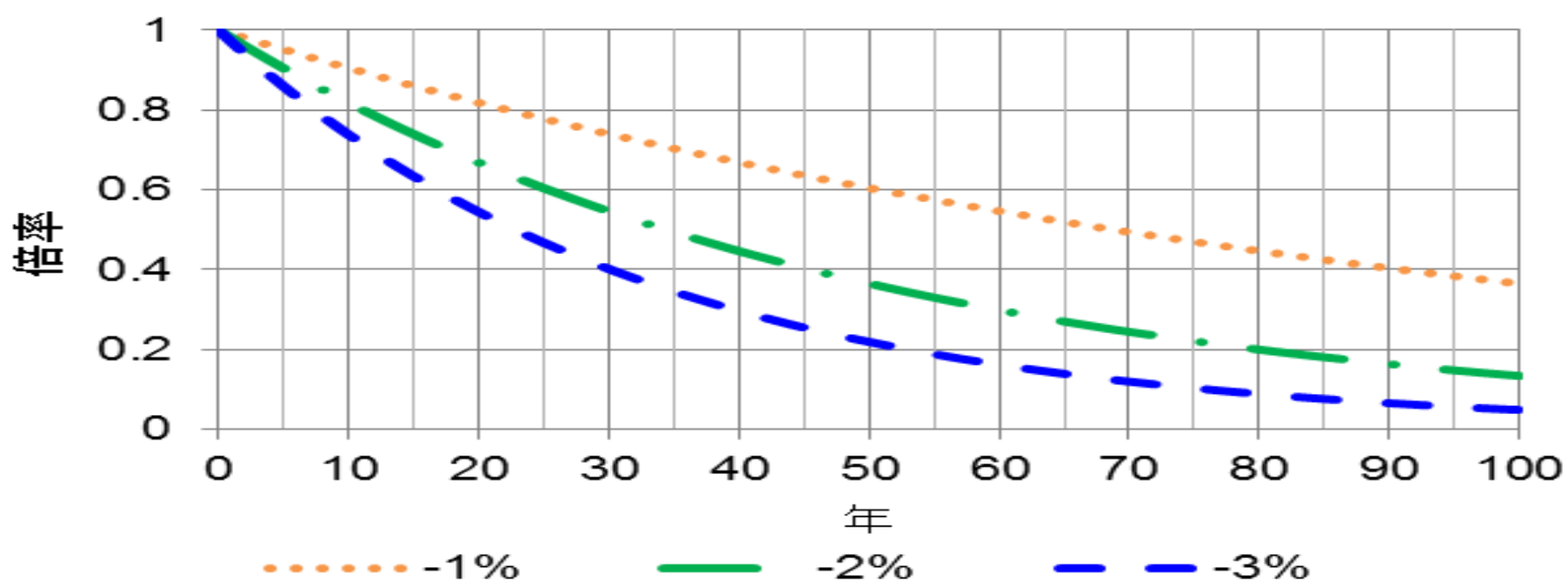
http://www.ecobeing.net/people/peo0403/kakawari_chart_1.html

石油発見量と消費量

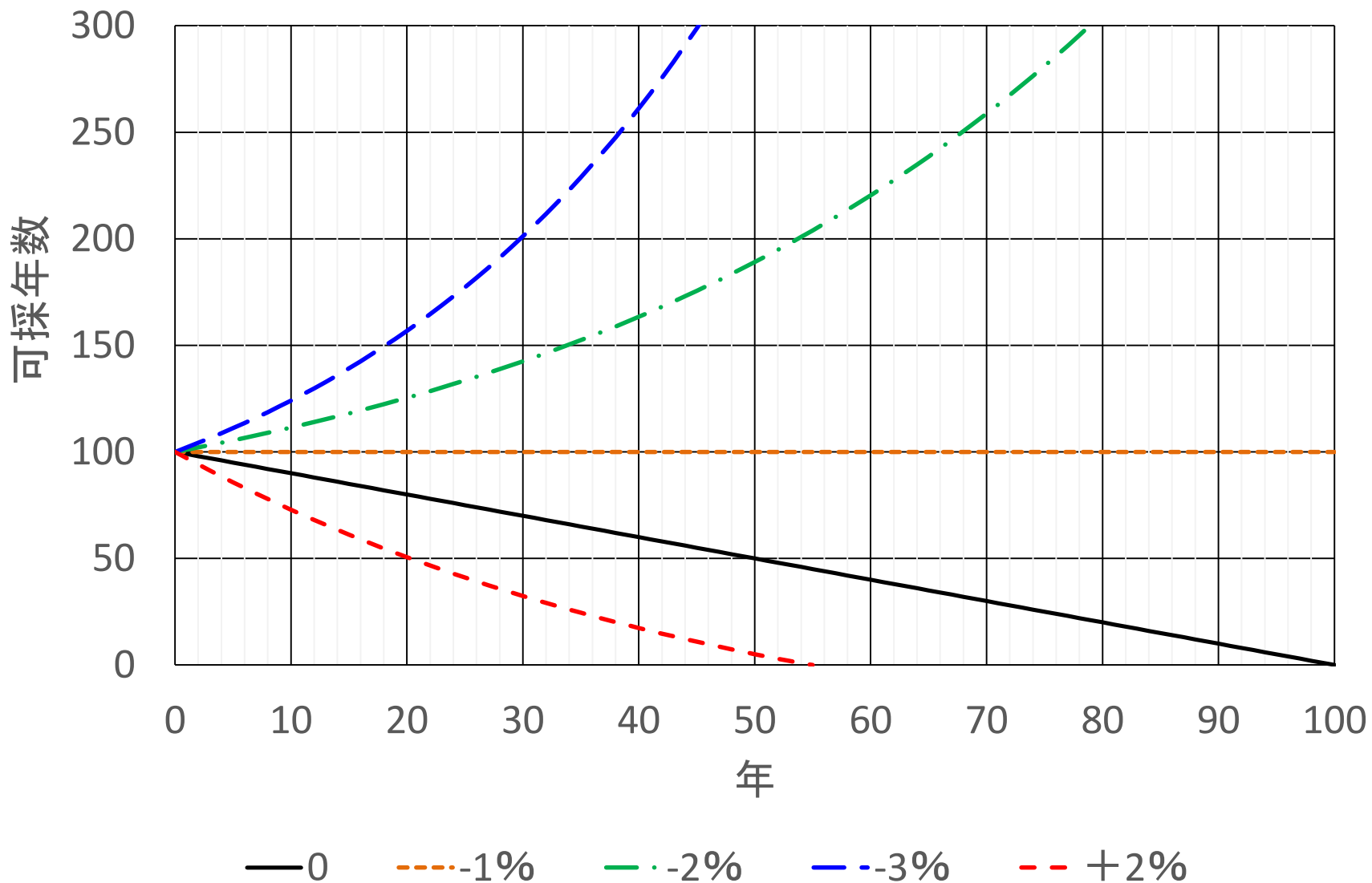
ピークオイル論の検討 木船久雄 図3 石油の発見量と生産量
名古屋学院大学論集 社会科学篇 第44巻 第2号 (2007年10月)
(出所) Energy Bulletins, ASPO

THE GROWING GAP Regular Conventional Oil: Discovery & Production





残存可採年数



エネルギー：年2%の縮小

(一人一日：2000kcal = 石油0.2リットル)

- 太陽熱温水器(20度x200L): 4,000kcal
- 太陽光発電(3.5kW, 3500kWh/year): 8200kcal/day
- 木材: 3,000kcal/kg
- 車使用: 1000kcal/1km
- 水道水: 3kcal/L、一人(400L/day)で1,200kcal/day
- エアコン(1kw: 860cal/hour): 860kcal/hour
- 車 製造(14,420,000kcal, 10年寿命を20年使用): 2,000kcal/day
- 住宅(100平米38,840,000, 50年寿命を100年使用):
1,000kcal/day
- テレビ(21型): 380,000kcal, ジャケット: 70,000kcal

2%の縮小は可能である。

縮小社会が目指すもの = 今日&明日 & みんなの幸せ

- ・ GDPは世界3位、個人GDPは25位、
- ・ 地球幸福度指数は75位（2009年）
生活満足度・寿命・環境負荷
- ・ OECDの「より良い暮らし指標（幸福度指数）」21位/36か国（2012年）

住宅、収入、雇用、共同体、教育、環境、ガバナンス、医療、生活満足度、安全、仕事と生活の両立

幸せな社会： 安全、安心、差別（貧富の差）がない、自由がある、仕事がある・・・

地方：土地がある（ダーチャ）

都会：共助（谷根千）

縮小社会像

- **30年後まで責任** 成長束縛からの解放
- もったいない、 儉約、 丈夫で長持ち、 省エネ、 エコ、 リサイクル、 リユース、 バスに乗ろう、 無駄使いは止めよう、 地産地消や里山保護の運動、 等々
- **ベーシックインカム、 ワークシェア、 教育の無料化、 医療の無料化、 炭素税、 金融取引や利子利益の制限、 汚染物の廃棄規制、 海洋資源の捕獲制限や森林保護協定、 法定準備率の増加、 減価貨幣、 地域通貨、 国際貿易の制限、 各種の雇用者保護、 公共交通の振興、**

まとめ

- 資源・環境は無限にない
- 経済成長は無限に続かない
- 科学技術でできないことが多い
- 食料確保が最重要
- エネルギー枯渇で修羅場になる
- 人口減は良いことである
- 化石燃料消費縮小で文明崩壊を回避できる
- GDPからGDP/人およびGHPへ

一般社団法人縮小社会研究会

2008年設立、2012年法人化

会員150名

研究会、講演会、13分科会

縮小社会研究会分科会

- 1 縮小社会の倫理・哲学
- 2 縮小社会の社会像と移行方法
- 3 縮小社会の必然性
- 4 縮小社会の科学技術、工業
- 5 縮小社会の経済構造
- 6 縮小社会の農業
- 7 縮小社会の医療
- 8 縮小社会のエネルギー・資源
- 9 縮小社会の生活
- 10 縮小社会に関する海外の動向
- 11 縮小社会と政治
- 12 縮小社会の移行と教育
- 13 生物多様性